

京都で解散後、各自帰省してから兵隊に行く。  
二十四日 学徒出陣のため三年生に仮卒業証を、二年生以下に  
仮修了証を授与。

十二月 一日 第一回学徒兵入隊。校内はガランとしてしまふ。  
四日および十一日 十八年度体力章検定会（於運動場）。

全員参加。合格者には体力章を与え、検査結果は体  
力手帳に記入。それを入隊のとき持参することにな  
っていた。

二十四日 彫刻科コンクールあり。

## ② 職員その他（主に「辞令簿」による。）

昭和十八年

一月九日 嘱託六角紫水は御用済みにつき朝鮮総督府より楽浪漆  
器整理事務嘱託を解かれる。

同月十五日 教授藤島武二は勲二等に叙せられ、瑞宝章を授与さ  
れる。

同月十九日 北沢国民学校訓導山本隆亮（大正十二年国画師範科  
卒）は師範科および教員志望生徒のための芸能科教育における  
「形体美の研究」授業を臨時嘱託される。

同月二十八日 講師山岸清一郎依願解嘱となる。

同月三十日 講師杉田精二および田辺孝次は用済みにつき解嘱と  
なる。

二月一日 工芸技術講習所助教授山脇洋二は本校助教授兼任を命  
ぜられる。

同日 商工省工芸指導所技手鈴木三男（昭和二年国案科卒）  
は国案部生徒のための偽装に関する特別講義を一カ月間臨時嘱  
託される。

同月九日 陸軍中尉湯浅長義は体操、教練担任講師を嘱託され  
る。

同月二十七日 教授香取秀真、依願免官となる。  
三月八日 教授森井健介は教務課長を免ぜられ、文庫課長・教務  
課長兼勤を命ぜられる。教授多賀谷健吉は生徒課兼勤を免ぜら  
れ、教務課長を命ぜられる。助教授入谷昇は彫刻科理事を免ぜ  
られ、同科塑造部理事を命ぜられる。同羽下修三は同科木彫部  
理事を命ぜられる。

同日 教授小泉勝爾、同田辺至、同関野聖雲、同海野清、同  
石田英一、同高村豊周、同六角紫水、同松田義之、助教授森田  
武は文庫委員を命ぜられる。

同月十七日 講師湯浅長義、依願解嘱。  
同月十八日 教授藤島武二（油画科主任）は従三位に叙せられ  
る。

同月十九日 藤島武二は脳溢血のため昭和十六年五月以来加療々  
養中のところ、本日死去。二十三日に青山斎場にて葬儀が行わ  
れる。

同月二十九日 左記の人々が本年度講師を嘱託される。

東京女子師範学校教授	尾上	八郎	師範科書道
帝国芸術院会員			一週二時間
京都府工業奨励館長	松田竹太郎	同	同科工学

東京帝国大学文学部教授 上村 福幸 師範科教育学  
一週四時間

東京高等師範学校教授 高階 順治 同科倫理学  
一週二時間

陸軍教授 鈴木 清 同科図学

小磯 良平 油画科絵画実習  
一カ月十八ないし二十四時間

同月三十一日 講師正木篤三、大峽秀栄は依願解嘱となる。同富永惣一は解嘱となる。

四月一日 前年に引き続き矢代幸雄(美術史)、滝川長七(工芸化学)、遠藤佐市郎(師範科国語)、秦慧玉(同科漢文)、平井小二郎(体操、教練)、山岸清一郎(同)は講師を嘱託される。

同月二日 学校長澤田源一は日本諸学振興委員会本年度芸術学部臨時委員を文部省より嘱託される。

同月七日 教授松田義之は師範科理事を免ぜられ、助教松垣鶴雄がこれに任ぜられる。

同日 助教伊原宇三郎は油画科および師範科、彫刻科の絵画実習授業担任を、同西田正秋は解剖学、東洋美術史、西洋彫刻史授業担任を、同鎌倉芳太郎は東洋美術史、東洋絵画史、日本美術史授業担任を、講師白川一郎は図学および工芸科、師範科の絵画実習授業担任を命ぜられる。

同月十日 岸熊吉、新納忠之介、富田一昭は本校生徒奈良県下修学旅行の臨時実地指導を嘱託され、入江幾治郎(波光)、安間立雄は同じく京都府下における実地指導を嘱託される。

同月十二日 寺内万治郎は講師(手当一時間五円以内標準)を嘱

託され、油画科絵画実習一週六時間ないし八時間担任を命ぜられる。

同日 講師小磯良平、寺内万治郎は師範科絵画実習授業兼任を命ぜられる。

同月十九日 事務官北浦大介は文庫委員を命ぜられる。

五月一日 東京帝大技師奥田芳男は建築科の建築衛生に関する特別講義を臨時嘱託される。

同月三日 教授石田英一は金工製作法授業担任を免ぜられ、金工史授業担任となり、教授海野清は金工史授業担任を、助教八田辰之助は金工製作法担任を、同丸山不忘は金工史授業担任を命ぜられる。

同月十日 帝室博物館鑑査官鷹巢豊治(大正五年日本画科卒)は本年度第一学期中東洋工芸(陶磁)史授業を毎週二時間嘱託される。

同月十三日 鎌倉芳太郎は文庫課主任を命ぜられる。

同月十四日 助教松垣鶴雄、同松田権六、講師川崎小虎、同村

田良策、同岡田捷五郎は教授に任命される。

同月二十六日 片岡照三郎は漆工部第四学年の彫鏤実習授業を六月一日より十二日まで臨時嘱託される。

同月二十七日 教授南薫造は依願免本官となる。

六月二十二日 陸軍中尉槻尾宗一(昭和十二年鍛金部卒)は体操、教練講師を嘱託される。

同月三十日 小池岩太郎は引き続き図案実習担任講師を嘱託される。

